

三笠市議会政務活動費実績報告書

令和 7 年 3 月 19 日

三笠市議会議長 武 田 悌 一 様

会 派 名

代表者名 澤 田 益 浩

三笠市議会政務活動費条例第10条の規定により、次のとおり政務活動費に係る支出の実績を報告します。

記

1 交付決定額 50,400 円

2 支 出 額

項 目	金 額	摘 要
調 査 研 究 費	円	
研 修 費	66,700円	研修負担金、航空券代、宿泊費
会 議 費	円	
広 報 費	円	
広 聴 費	円	
要 請 ・ 陳 情 活 動 費	円	
資 料 作 成 費	円	
資 料 購 入 費	円	
合 計	66,700円	

3 添付書類 領収書、領収明細書等の支出証拠書類

- 備考 1 摘要欄には、主な支出の内訳を記載してください。
- 2 会派に所属していない議員にあつては、「代表者名」とあるのは「議員名」と読み替えて記載し、「会派名」の欄の記入は、必要ありません。

政務活動費領収書等貼付用紙

支出項目	研修費	金額	66,700円
------	-----	----	---------

領収証

2025年2月20日

澤田益治様

★

¥30,000

但 2/20 14時～ 交通空白と地域公共交通の役割②
2/21 10時～ ライドシェアの基礎と課題
研修会受講代として

上記正に領収いたしました

地方議員研究会

〒530-0001
大阪府大阪市北区梅田1-2-2
大阪駅前第2ビル2階5-6号室
TEL 050-6868-9678



旅費・宿泊費

別紙

領収書

Rakuten Travel

発行日: 2025/2/18
発行1回目

澤田 ますじ

様

支払金額 36,700 円
ツアー料金: 36,700 円

但し サービス利用代金等として

■ 内訳

コンビニ決済利用金額 36,700 円

■ 課税対象

10%対象 36,700 円

課税対象外 0 円

■ 旅行内容

代表者 さわだ ますじ

予約番号 RJ62460657513550484

旅行日程 2025/02/20 ~ 2025/02/21

申込人数 1名 (大人1名/子供0名/幼児0名)

航空会社 日本航空

ホテル アパホテル&リゾート〈西新宿五丁目駅タワー〉(2025/02/20から1泊・1部屋)

■ 利用明細

内訳 大人 36,700 円 x 1名

ご利用ありがとうございました。

楽天グループ株式会社

トラベル&モビリティ事業

〒158-0094 東京都世田谷区玉川1-14-1

楽天クリムゾンハウス

<https://travel.rakuten.co.jp/>

登録番号: T9010701020592



『地域の足』が無くなる？ 交通空白解消セミナー

講師 **井原 雄人**
いはら ゆうと

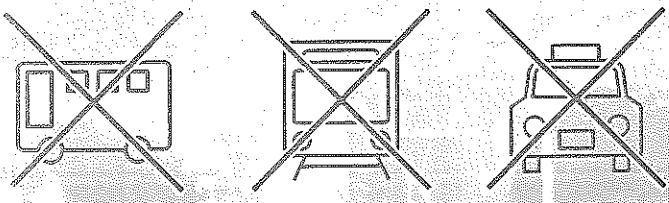
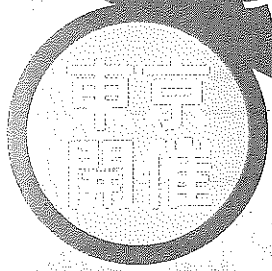
早稲田大学 スマート社会技術融合研究機構 研究院客員准教授
合同会社ビジュアライト 共同代表
早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科満期退学。
博士(学術・早稲田大学)

【紹介】

大学における研究成果を実際の社会で活用することを目的に、電動バスや燃料電池車両の開発からそれらを活用した地域公共交通の計画策定や地域が主体となったコミュニティ交通導入を実施。



地域からバス、電車、タクシーが無くなる？今地方議員が取り組むべき課題～



2025
1/16(木) 2/20(木) 3/26(水)

交通空白と地域公共交通の役割①
10:00～12:30

- ・用語の定義で役所に騙されるな
- ・人口減少と高齢化を数値で確認
- ・地域公共交通の定義と範囲のおさらい
- ・地域公共交通の役割と課題
- ・人口減少時代のまちづくりと交通の関係とは

交通空白と地域公共交通の役割②
14:00～16:30

- ・地域交通法の改正の歴史と意図
- ・競争どころではなくなった時代
- ・地域公共交通計画の突っ込みどころ
- ・自治体の役割の再確認
- ・議員に取り上げてほしい交通課題

2025
1/17(金) 2/21(金) 3/27(木)

ライドシェアの基礎と課題
10:00～12:30

- ・政府の交通空白解消本部の議論をおさえる
- ・日本版ライドシェアの全国展開？
- ・公共ライドシェア、日本版ライドシェア、乗合タクシー
コミュニティバス、デマンド運行の定義と役割
- ・地域の足対策と観光の足対策

交通崩壊の解決策と各地の事例
14:00～16:30

- ・交通崩壊は既に始まっている
- ・ローカル鉄道の再構築に関する仕組みと支援例
- ・交通税導入の検討と財源策
- ・自動運転ロードマップ
- ・DXGX新しいモビリティサービス

三笠市議会政務活動費・研修報告書

三笠市議会議員 澤田 益治

2月20日 東京西新宿大京ビル2階 14時から16時半まで

早稲田大学スマート社会技術融合研究機構電動車両研究所・研究員客員准教授 井原雄斗先生の交通空白と地域公共交通の役割「地域の足」がなくなる？

交通空白解消セミナーを受けてきました。本人は20年間車の研究をしているが、車の免許を持っていないと。運転できないからこそ、自分事として「地域公共交通」を考えていますと。

戦後・高度経済成長期 1987年国鉄の分割民営化や、2000年には鉄道旅客船、貸し切りバスの規制緩和の前後、自動車の普及で鉄道の利用者が減り始めた。

三笠市においても炭鉱の衰退とともに鉄道が無くなり、唯一バスが残っており、バスも1時間当たりの便数が少なく、三笠行政からの補助金をあてても市民の足を確保しなければならぬと強く感じた今回の研修でした。